

支援センターみらい

● ヘルパーステーションあしすと ●

サービス提供責任者 中江 昌美

「ヘルパーステーションあしすと」も5年目を迎え、当初の課題でありましたヘルパー不足(特に男性)も徐々に解消され、利用される方も増えてきました。移動支援では、ボウリングや映画・カラオケの他、好きな電車に乗って過ごしたり、ハイキングやお風呂など、それぞれ色々な楽しみ方をされています。ご利用者に「楽しかった～！」と喜んでいただいたり、ご家族から「ヘルパーさんと出かけた日はニコニコして機嫌がいいよ」と言っていたら、本当に嬉しく励みになります。

4月から、よりたくさんの方に利用していただけるように、また、より充実したサービスを提供することができるように、サービス提供責任者を2名体制としました。ヘルパーにもまだ少し空きがありますので、ご利用を検討中の方がいらっしゃいましたら、一度ご連絡下さい。



第2みらい

● 支援員の一日 ●

生活介護事業所 第2みらい 主任 田村 良子

普段の活動中はみなさんと一緒に過ごしているので、見えやすいと思うのですが、送迎前やみなさんがご帰宅された後はどのような事をしているのか普段見えにくいですね。

今回は支援員の一日についてご紹介してみたいと思います。

朝は送迎業務からスタート。早い便だと7時45分に第2みらいを出発しています。

そして、送迎業務にあたっていない職員で朝礼・利用者の受け入れをします。

日中は日中の活動を軸に利用者一人ひとりの支援を行っています。

皆さんがご帰宅された夕方にはその日の片づけ・掃除・ケース記録や行事に向けての事前準備・打ち合わせ・会議などを行っています。

送迎業務が終わると、各グループでのグループ終礼と翌日の事前準備を行います。

世間一般的に一日というのは朝から始まりますが、職員の一日は前日から始まっていると言っても過言ではないかと思えます。

利用者のご自分の思いなどを自発的に発信したくても、上手く伝えられなかったり、自発的に発信できる方も少ないので、みなさんが帰られた後の時間でグループ毎の終礼を行い、そこで利用者個々の様子や状態、支援についての確認や共通認識を持つ事で連携を図っています。

あたりまえのことを日々実践できるように、支援員個人ではなく、第2みらいというチーム(職員集団)として利用者を支えて行けるよう、これからも日々の連携や事前準備を大切にしていきたいと思っています。

